

事務事業評価票

所管部長等名	泉支所長 岩村 広人
所管課・係名	泉支所 市民福祉課 保険福祉係
課長名	本田 正剛

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	継続事業(下岳診療所兼任管理委託)	「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	下岳診療所兼任管理委託	
会計区分	診療所特別会計			
予算の事業名	下岳診療所一般管理費			
事業コード(大-中-小)	62 - 01 - 05			
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第1章 誰もがいきいきと暮らすまち		
	施策の大綱(節)【政策】	③ 健やかに暮らせるまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	① 保健・福祉・医療の連携強化		
	具体的な施策と内容	(1) 保健・医療の充実		
根拠法令、要綱等	八代市立下岳診療所条例			
実施手法 (該当欄を●)	<input checked="" type="radio"/> 全部直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()	法令による実施義務 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 義務である <input checked="" type="radio"/> 義務ではない	
事業期間	開始年度	合併前	終了年度	未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)
	内容 (手段、手法等)	泉町地域住民 八代市立下岳診療所の運営管理 診療時間:午前9時~午後5時 診療日:火曜日及び金曜日 (国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く) 八代郡医師会との委託契約に基づき医師を診療派遣	診療所を管理・運営することにより、住民の健康保持及び地域医療の確保を図る。 昭和55年に住民の医療確保のため村立診療所として設立されたが、地域の人口減少、高齢化に伴う施設入所及び長期入院等により、年々受診者が減少傾向にある。
事業開始時点からこれまでの状況変化等			

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	16,120	16,120	16,120	16,120	16,120	16,120	
	事業費(直接経費)	千円	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他(事業収入)	千円	13,270	12,896	12,904	12,904	12,904	12,904
	一般財源	千円	2,430	2,804	2,796	2,796	2,796	2,796	
概算人件費(正規職員)	千円	420	420	420	420	420	420		
正規職員	人	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06		
従事者数	人								
臨時職員等従事者数	人								
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 1日当り受診者数	受診者の増減が診療所運営の安定化及び地域医療の確保に関わると考えられるため指標として設定	人	36.5	33.3	31.8	31.8	31.8	31.8
	② 保険収入及び一部負担金収入	収入の増減が診療所運営の安定化及び地域医療の確保に関わると考えられるため指標として設定	千円	23,422	21,486	21,500	21,500	21,500	21,500
(記述欄)※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A （現状分析等） 民間の医療機関が遠い地域住民が対象であり、今後、他の医療機 関が参入する可能性も非常に低いと考えられることから、診療業務 を通じ、住民の健康を維持することの目的のために、市が事業主体 であることは妥当であると思われる。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか（国・県・民間と競合していませ んか）	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A （現状分析等） 地域の人口減少等に伴い、年々受診者も減少傾向にあるが、他の 医療機関までは遠いため、住民への負担も大きいことや、地域の高 齢化率も高くなってきており、今後、受診者が大幅に減少すると思 われず、事業を見直す余地はない。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A （現状分析等） 地域的に民間委託等はコスト削減に繋がりにくいことと、統合・連携 する類似事業もないことから検討の余地はないと思われる。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか（引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止）	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 （該当欄を●）	<input type="radio"/> 不要（廃止） <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による（民間委託の拡大・市民等との協働等） <input type="radio"/> 市による実施（要改善） <input checked="" type="radio"/> 市による実施（現行どおり） <input type="radio"/> 市による実施（規模拡充）	（今後の方向性の理由） 住民の健康保持及び地域医療の確保を図るために、なくてはならない事業であり、今後も現行 どおり市による実施が必要である。																					
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 住民のニーズに対応できるように、計画的な医療機器の整備を進めて、受診者の増加を 図ると共に後発医薬品の更なる使用促進でコスト削減を図る。	改革改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

外部評価の実施	無	実施年度
---------	---	------

決算審査特別 委員会における 意見等	（委員からの意見等）
--------------------------	------------